

注意 外側から引き出して ください。

LEDモジュールは外側から引き出して
ください。内側から引き出すとねじれや
すく故障の原因となります。

フレキシブルLEDモジュール FXH-LED

【DC24V】

注意 適合直流電源装置を必ず使用してください。
AC100Vを入力した場合、一瞬で故障します。

取扱説明書 保存用

ご購入ありがとうございます。
ご使用前に必ずお読みください。
この説明書は取付工事が終わりましたら
製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

25年01月10

営業本部/東京都品川区西五反田1-13-5:03-3492-4460 最新の連絡先はホームページhttp://www.dnlighting.co.jpをご確認ください。

安全上の注意

警告

- 取付工事やLEDモジュール交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。直流電源装置の故障、感電の原因となります。
- 万一、煙がたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- LEDモジュールの取り付けは、LEDモジュールの質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- LEDモジュールの分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。(指定切断箇所での切断は除く)

- LEDモジュールに内蔵されている電子部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- LEDモジュールの隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 適合直流電源装置(別売)以外は使用しないでください。LEDモジュールの破損、発煙、点灯回路損傷の原因となります。(適合直流電源装置:ELD24100FD、ELD2-24240FD、ELD24150FDD)
- LEDモジュールを無理に引っ張る、ねじる、押さえつける、最小曲げ半径150mm未満で曲げる(裏面の「本体の取り付け」参照)行為はしないでください。故障、火災の原因となります。

注意

- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や温度の高いところで使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、LEDモジュールに水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 可燃性造営材に取り付ける場合にはLEDモジュールとの間隔をとってください。火災の原因となることがあります。
- 点灯しているLEDモジュールを長時間直視するのはおやめください。目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- LEDモジュールを被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。

- LEDモジュール取付時は、アルミレール(別売)や取付クリップ(別売)を用いて確実に取り付けてください。LEDモジュール落下によるケガの原因となることがあります。
- 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- LEDモジュールの温度上昇は収納部の容積やLEDモジュールと周囲の造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。
- LEDモジュールに塗料などを塗らないでください。故障、破損、感電、火災の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯後しばらくは、LEDモジュールが熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 誤って落下させたLEDモジュールは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 変形したサドルは使用しないでください。LEDモジュール落下によるケガの原因となることがあります。

ご使用上の注意

- 周囲温度は5℃~35℃の範囲で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキの原因となることがあります。
- 点灯および消灯直後にLEDモジュールからの熱による金属の膨脹収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LEDモジュールの光が入らないよう配慮してください。
- LEDモジュールを並列に取り付ける場合は、LEDモジュール1台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、LEDモジュールの短寿命の原因となることがあります。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じる場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときはLEDモジュールから1m以上離して使用してください。

- LED素子にはバラツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 交換の際はLEDモジュールごと交換してください。LED素子単体では交換できませんのでご注意ください。
- LED素子は、経時的に光色、明るさのバラツキが発生する場合があります。ご了承ください。
- 什器等の絶縁性能試験を実施する際は、LEDモジュールを必ず取り外しておこなってください。LEDモジュールが故障します。
- 調光する際は、指定の調光用直流電源装置と調光器を必ず使用してください。
- 被照射物の染料や顔料の特性によって、LEDの可視光により退色や変色する場合があります。
- LEDモジュールの自重によるツリを防ぐよう、アルミレール(別売)や取付クリップ(別売)を配置してください。
- 通電したままLEDモジュールを脱着しないでください。直流電源装置、LEDモジュール故障の原因となることがあります。
- 扉の開閉箇所など、LEDモジュールが繰り返し曲げられる場所へ取り付けしないでください。故障の原因となることがあります。

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置・調光器・モジュール)には耐用年限があります。耐用年限とは、照明器具等が部材の経年劣化等によって不具合が生じる、または不具合が生じる頻度が高くなり交換を要するまでの使用期間をいい、「適正交換時期(8~10年)」と「耐用の限度(15年)」があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(日本照明工業会ガイドA111-2024)
※LED光源は光東維持時間を過ぎても、暗くなりませんが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、耐用年限が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

定格 入力電圧 DC24V

形式*1	全長 (mm)	本体質量 (kg)	LEDモジュール 入力電力 (W)
FXH-LED 514□□	514	0.10	10.8
FXH-LED1014□□	1014	0.19	21.6
FXH-LED1514□□	1514	0.28	32.4
FXH-LED2014□□	2014	0.36	43.2
FXH-LED2514□□	2514	0.45	54.0
FXH-LED3014□□	3014	0.53	64.8
FXH-LED5014□□	5014	0.88	108.0

*1 形式の□□は色記号(L28、L30は電球色、WWは温白色、Wは白色、Nは昼白色)

*2 最大使用W数は、LEDモジュール入力電力を使用し、LEDモジュールを組み合わせたときの値です。

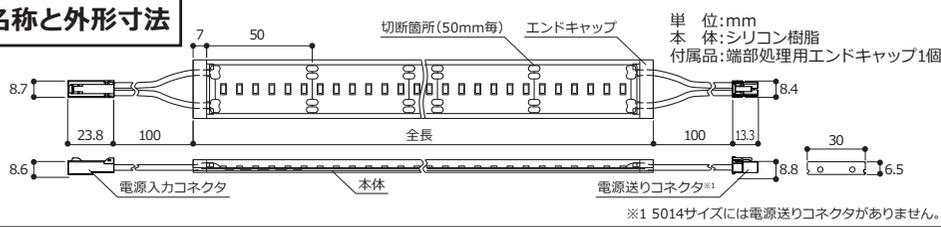
*3 段調光アダプタSDA240との併用で調光可能。

*4 直流電源装置は周囲温度5℃~40℃の範囲で使用してください。ただし、直流電源装置を天井裏など40℃近傍で使用する場合は()内の電力で使用してください。

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

適合直流電源装置形式	最大使用W数*2	LEDモジュール 連結合計長
ELD24100FD*3	70W(60W)*4まで	2414mm以内
ELD2-24240FD*3 (非調光・PWM調光兼用)	168W(144W)*4まで	5014mm以内
ELD24150FDD*3 (非調光・DALI調光兼用)	105W(90W)*4まで	4864mm以内

各部の名称と外形寸法

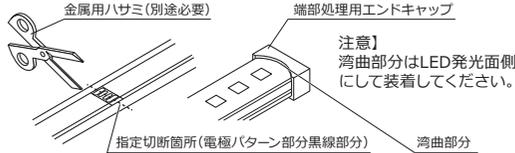


取付方法

1. 本体の取り付け

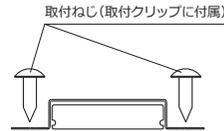
●LEDモジュールの長さ調整方法

- ①本体の切断
 - 1) 指定の切断箇所(下図)を確認してください。(50mm毎で切断可能)
 - 2) 金属用ハサミ、モールカッターなどで切断してください。
- ②端部処理用エンドキャップの装着方法
 - 1) LEDモジュール端部に推奨接着剤(信越化学工業製KE45T、別途必要)を十分に塗布し、エンドキャップを装着してください。(湾曲部分の向きに注意)
 - 2) 端部処理用エンドキャップがLEDモジュールに隙間なく確実に装着されていることを確認してください。はみ出した接着剤は拭き取ってください。



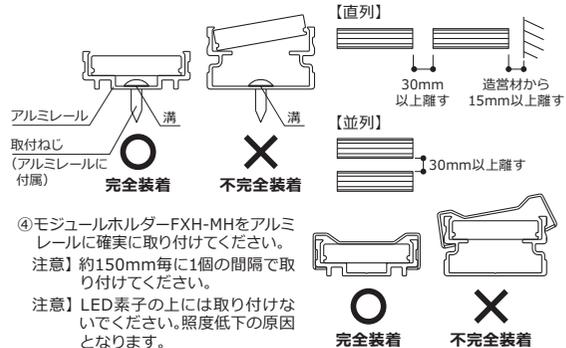
●取付クリップで取り付けの場合

- ①取付クリップは150mm間隔を目安に配置してください。
- ②取付クリップを取付ねじ(取付クリップに付属)で造営材に確実に固定してください。
注意】LED素子の上には取り付けないでください。照度低下の原因となります。
注意】取付クリップFXH-CL使用時は埋め込み施工できません。

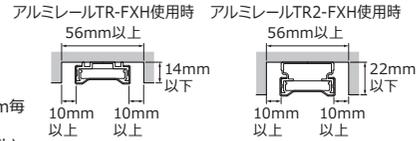


●アルミレールで取り付けの場合

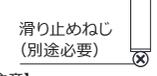
- ①アルミレールをLEDモジュール全長に合わせて切断してください。
注意】LEDモジュールの長さを調整した場合
・アルミレールは、LEDモジュール全長より10mm短く切断してください。
・端部処理用エンドキャップは、アルミレール端部の外へ出るように装着してください。(アルミレールには取まりません)
- ②アルミレールに取付穴(φ4.0mm程度)をあけ、取付ねじ(アルミレールに付属)で造営材に確実に固定してください。
ねじ取付ピッチ: 500mm以内
注意】取付穴加工は、溝以外にしないでください。
- ③アルミレールにLEDモジュールを装着してください。



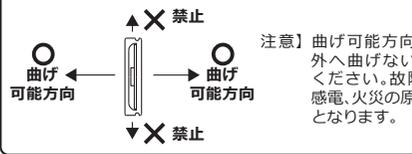
<埋め込み最小施工寸法>



縦向き取付時



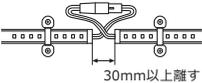
曲げ可能方向(最小曲げ半径150mm)



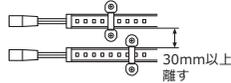
取付クリップFXH-CL(別売)



<直列>



<並列>



アルミレール(別売)

TR-FXH1000 TR-FXH1500 TR-FXH2500
※末尾の数字はレールの長さを表します。(単位:mm)



アルミレール(別売)

TR2-FXH1000 TR2-FXH1500 TR2-FXH2500
※末尾の数字はレールの長さを表します。(単位:mm)

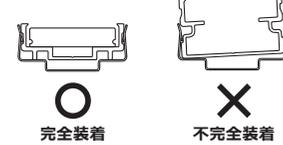


モジュールホルダー-FXH-MH(アルミレール付属品)



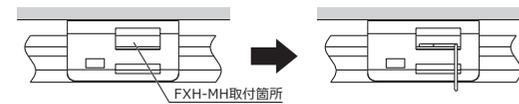
●TFHサドルを使用してアルミレールで取り付ける場合

- アルミレールで取り付けの場合の手順①、③、④に続けて以下をおこなってください。
⑤TFHサドルを取付ねじ(TFHサドルに付属)で造営材に確実に固定してください。
注意】TFHサドル取付数の目安:1000、1500サイズ 2個以上 2500サイズ4個以上使用してください。
⑥アルミレールをTFHサドルに装着してください。

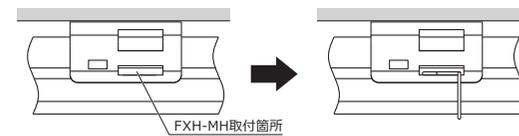


⑦上向き取付以外はアルミレールの落下防止のため、TFHサドルにモジュールホルダーを取り付けてください。

下向き取付TR-FXH使用時

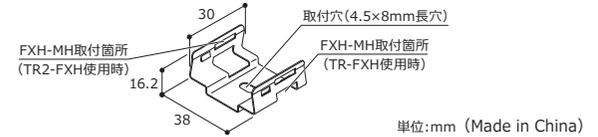


下向き取付TR2-FXH使用時



固定金具TFHサドル(別売)

材質:ステンレス
本体入り数:5個
付属品:トラスタッピングねじ 3.5×16mm 5個
※TFHサドル取り付け後の高さは、+4mmとなります。



2. 直流電源装置(別売)の接続

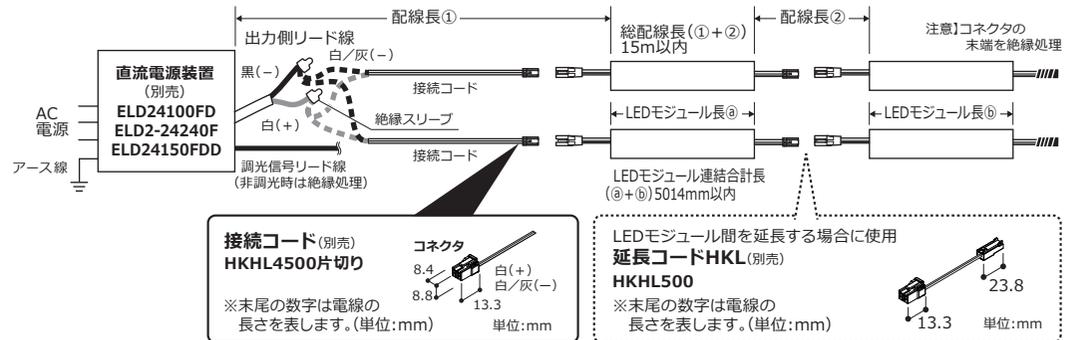
※必ず電源を切ってください。

注意 直流電源装置の最大使用W数以下で使用。(故障の原因)

直流電源装置の取り扱いについては、各製品の取扱説明書をご覧ください。

●ELD24100FD、ELD2-24240FD、ELD24150FDDを使用する場合

- ・専用コードHKHL(別売)を必ず使用し下図のとおり配線してください。
- ・LEDモジュール連結合計長が5014mmを越える場合は、直流電源装置出力側リード線の末端で分岐してLEDモジュールを接続してください。
- ・延長配線する場合は1.25mm以上の電線をご利用ください。
- ・調光用直流電源装置と調光器の接続については、各調光器の取扱説明書をご覧ください。

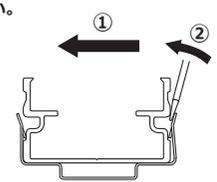


3. 電源の供給

全ての作業が終わりましたら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。

TFHサドルからアルミレールを取り外す場合は下記の手順で行ってください。

- ① アルミレールを片側に寄せる
- ② TFHサドルとアルミレールの間にマイナスドライバーを差し込み起こす



TFHサドルからモジュールホルダーを取り外す場合は下記の手順で行ってください。

- ① モジュールホルダーを軽く押さえる
- ② 側面にマイナスドライバーを差し込みまわす

